

令和6年度 授業創造プラン

4年

日野市立滝合小学校

教科	児童の実態 (Gテストを含む)	具体的な取組
国語科	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きは繰り返し学習することで少しずつ定着している様子が見られる。(G テスト平均得点率70%)無答率は、9%(漢字によって、読みが5%弱、書きが11~17%)みられる。 物語文の読み取りは、全体的によくできている。(G テスト平均得点率80%)登場人物の心情理解は、得点率70~90%と高いが、内容理解は、60%と低い。 説明文などの問題の意図を理解して、文章を読むこと、内容理解に課題がある。(G テスト平均得点率32%) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に漢字の学習方法を見直し、家庭学習の進め方、漢字小テストに向けての練習方法を検討していく。全体的に日常的に漢字を使おうとする意識が低いので、新出漢字を活用することを定着させていく。 「白いぼうし」「一つの花」「ごんぎつね」では場面ごとに、大切なこと(時・場・人物)を落とさず一文でまとめる練習、段落ごとに文章で短くまとめる練習をし、内容を捉える力をつける。 「アップとルーズ」「未来につなぐ工芸品」では、文章の中で聞かれていることが何かを明確にし、文章の中の大事な言葉(中心文やキーワード)を見つけて答える練習をする。始め、中、終わりの文章構成や問と答えなど段落に書かれている内容とその関係を意識して読む練習をする。
算数科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な四則計算では、たし算、わり算の得点率が高いが、ひき算、かけ算の得点率が低い。かけ算の筆算では、九九がまだしっかりと覚えられていなかったり、手順が分からなくなったりする児童が数名見られる。 図形の学習において課題が見られる。(G テスト平均得点率円:63% 球:36% 二等辺三角形:39%) 大きい数のしくみ、1億より大きい数など桁が大きくなると、数の仕組みを理解することが難しい児童が複数名見られる。(Gテスト平均得点率64%) グラフなどを作成することに苦手が見られる。(Gテスト平均得点率55%) 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算を早くできるように、朝学習などを使って既習事項を復習する。かけ算やわり算の筆算の手順が覚えられるように掲示物などを活用して、繰り返し復習して定着を図る。九九がまだしっかりと覚えられていない児童には、個別にプリントを 「垂直、平行と四角形」では、直線の平行や垂直の関係をしっかりと理解できるように様々な二つの直線の交わり方に注目して比べる活動を行う中で捉えられるようにする。平行四辺形やひし形、台形について図形の定義を理解して覚え、言葉で説明したり、作図して活用したりする活動を行う。 『億』や『兆』でも同じ仕組みで、十進位取り記数法を使って数の範囲が広がっていくことを理解できるように、簡単な数から繰り返し練習する。 縦軸、横軸の見方を押さえ、情報をグラフに整理する練習をする。